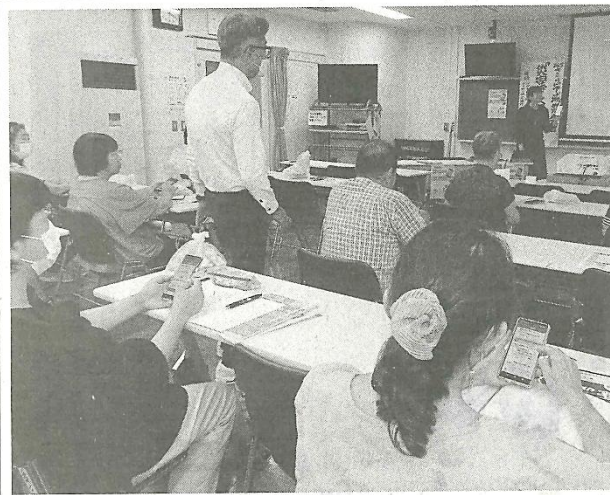


アプリ使い正確な情報取得

豊橋「さくらピア」 災害時のスマホ活用学ぶ

豊障連が企画



防災アプリの使い方を学ぶ
参加者＝さくらピアで

豊橋市障害者福祉会館「さくらピア」で26日夜、「さくらピア減災学習」が開かれた。館を利用する障害者や家族、関心のある市民ら20人が「災害時のスマホ活用術」に関する講義を受けた。

指定管理者の「豊橋障害者（児）団体連合協議会（豊障連）」が主催。「福祉避難所」でもある同館で長年、避難生活などの検証を続けてきた。避難所体験の取り組みが広まったこと、分散避難の必要性が高まったことから防災・減災教育に切り替えている。

専門家が障害者や高齢者らに指導

一昨年は「ローリングストック」、昨年は「口腔（こうくう）ケア」に焦点を当てた。今回は情報弱者と呼ばれる障害者や高齢者らに、災害時に

少しでも正しい情報、必要な情報を取得してもらおうと専門家による講座を企画した。

ソフトバンクセミナー認定講師の堀畑珠乃さんらを講師に「緊急時にこそスマホを活用しよう」と題し、既存の防災アプリの活用方法を学んだ。参加者はアプリを起動させて避難所の設定の仕方などを教わったほか、避難訓練のシミュレーションができるアプリを体験した。館利用者を対象にした事前アンケートでは、スマートフォンで災害情報を確認する人が多かったものの「やり方がわからない」「持っていない」という人も少なからずいた。「今後の課題にしたい」と職員。

学習後は避難訓練もあり、館内利用者がスムーズな移動を心掛け、近くの公園へ移動した。

【田中博子】

災害時のスマホ活用学ぶ 豊橋 さくらピアで減災学習

いつ起こるかわからない災害に備え、減災学習と避難訓練が26日、豊橋市障害者福祉会館「さくらピア」で開催された。利用者ら約20人が参加した。

「災害時のスマホ活用術」と題し、ソ



減災学習の様子（さくらピアで）

フトバンクセミナー認定講師の堀畑珠乃さんが講演した。災害時にスマホを役立てるための災害速報や天気予報の見方、災害時に便利なスマホの使い方などを、実際の体験用スマホを使って実演しながら講演した。

利用者は、防災アプリの使い方や、災

害情報の受け取り方などを、実際にスマホに触りながら体験。避難場所のリストを作成したり、避難のシミュレーションをしたりした。学習終了後は避難訓練が行われ、全員が会場から近くの公園への避難を体験して順路などを確認した。

（大林恭子）